

見学会報告
福井県立恐竜博物館見学会
石川智美



福井県立恐竜博物館

平成 24 年 12 月 16 日に福井県立恐竜博物館見学会を行いました。NPO で恐竜博物館へ行くのは 2 回目です。小雨の降る中、8 名で静岡を出発しました。

福井県立恐竜博物館へ開館少し前に着きました。博物館は金色の卵型ドームでおもしろい建物です。博物館の外には、勝山市長尾山総合公園には実物大恐竜模型や遊具などがあります。しかし雪に埋もれてしまい見ることができませんでした。冬期は雪の影響で来館者は少ないかと思っていましたが、16 日は常設展無料日のため開館前から 20 人ほど並んでいました。恐竜博物館は、日本の恐竜研究の拠点となる施設として平成 12 年に開館しました。福井県の自然については福井市自然史博物館が担当し、恐竜に特化した博物館を目指しているそうです。

入館後、学芸員の佐野さんの案内でバックヤードを見学しました。地下にある荷解梱包室はトラックから大型化石を搬入する場所ですが、収蔵庫に入りきらない標本がたくさん置かれています。各実験室・研究図書館を見学したあと、化石クリーニング室へ行きました。室内では 3 名がクリーニング作業をしていました。ここで行われる作業は、博物館ロビーからガラス越しに見ることができます。収蔵庫は 1 階 2 階に分かれ、1 階には大型の化石・恐竜の復元骨格などがぎっしり収められています。2 階は小型の化石が木箱に入れられ棚いっぱい収められて

います。特別展に展示予定の化石もありました。勝山市では十数年にわたり恐竜発掘調査を行っていて、そこで発掘された化石も収められているそうです。特別展示室に裏から入ると、特別展『カマラサウルス展』の準備が進められていました。この特別展は“プロジェクト・カマラサウルス”と呼ばれ 2009 年に購入したカマラサウルス化石をクリーニング・補修・研究・復元まで館独自でおこなうプロジェクトで 2013 年の春に全身骨格が組み上がる予定です。特別展示室の一部でプレイイベントとして、子どものカマラサウルスの全身骨格(複製)や復元された頭骨などが展示されていました。復元された全身骨格は特別展後、常設展示されるそうです。

次に館内の展示見学をしました。入口は 3 階にあり、エントランスホールから地下へと長さ 35m のエスカレーターで一気に下ります。カマラサウルスの産状化石を見ながら恐竜の世界ゾーンへ向かいます。博物館のメイン展示で恐竜の全身骨格が 20 体ほどあります。この内 6 体は実物化石を用いて組み上げられています。同じ階に福井県の恐竜展示があり、フクイラブトル・フクイサウルスの全身骨格、手取層群産出化石を見ることができます。地球の科学ゾーンは主に恐竜化石以外の地学展示で、鉱物・岩石・地震・火山など子供にも解かりやすい内容でした。2 階は生命の歴史ゾーンで、生命誕生から人類出現まで恐竜以外の生物が展示されています。中生代の海生爬虫類やマンモスなどの哺乳類の全身骨格・原寸大ジオラマなどがありました。また来館者が利用できる図書室やミュージアムショップもありました。展示室は、恐竜の全身骨格など大型の展示物が多く、見学後とても満足感がありましたが、海外の恐竜が目立って、福井の恐竜が端の方にそっと展示されている印象で、福井県立の博物館なので、もっと福井の恐竜を中心に展示してもよかったのでは?と思います。